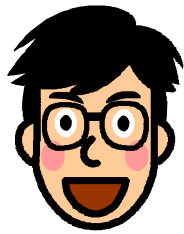


## 学校安全に関する取組について(お知らせ)



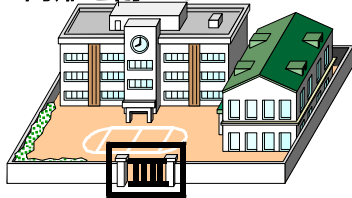
立春の候、保護者の皆様におかれましては、日ごろから本校の安全教育に関する取組に対しまして、温かい御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、現在子供たちを取り巻く環境には潜在的な危険が多く存在しています。頻繁に出没する不審者、交通事故、地震などの天災などが挙げられますが、事前の対策で最悪の被害を回避することができます。本校では、子供たちや保護者の皆様が、不安に思われる気持ちを少しでも和らげ、安全安心な学校生活を確保するために、下記のような対策を立て実施しています。その趣旨を御理解いただくとともに、御協力を賜りたく本校の取組についてお知らせいたします。

### 1 不審者の出没に対する取組

#### (1) 校内

##### 門扉を閉じる



門扉を常時閉じることによる意思表示  
北東の門は給食運搬車の出入りにより常時閉じることが困難です。交通渋滞や事故の発生が懸念されます。対応について検討中です。

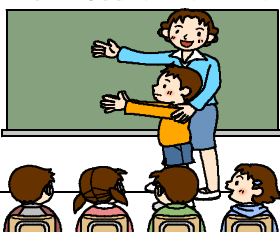
##### 来校者への対応



おはようございます。どちら様でしょうか。御用件をお伺いしてよろしいでしょうか。...忘れ物ですか。お預かりいたします。... ですね。今連絡をとりますので、こちらでしばらくお待ちください。

来校された方に対応するため、南北校舎の2か所で記帳をお願いしています。空き時間の教職員が対応していますが、本来の教育活動に専念できるよう、監視カメラの設置に向けての準備を進めています。

##### 不審者侵入時に対応する避難訓練



今年度は、2月18日(木)に実施します。

不審者が南北校舎1階を通過して教室に侵入した場合を想定し、教職員が連携して子供たちの命を守るための動きを練習します。伊予警察署の方に指導を仰ぎ、連携力を高めます。

子供たちの心に傷がつかないように、事前指導や教師間の打合せ等、万全を尽くします。

夏休み中の8月21日(金)に、伊予警察署の生活安全課から署員の方に来ていただき、御指導を仰ぎながら教職員だけの研修を行いました。不審者が入ったときの対応の仕方、特に、学校に常備している「さすまた」の使い方を学びました。

また、昨日の2月8日(月)の放課後には、ある学級に教職員全員が集まり、不審者役などを決めての避難訓練前のリハーサルを行いました。机上の計画では分からなかったことをみんなで出し合い、子供たちの命を守るため、いかに安全に早く、不審者を子供たちから遠ざけることができるか考えました。本番後も改善点を話し合い、学校の安全を確保します。

～ 以外にも、必要に応じて適応指導を行い、子供たちの危険回避能力の育成に努めています。

#### (2) 校外

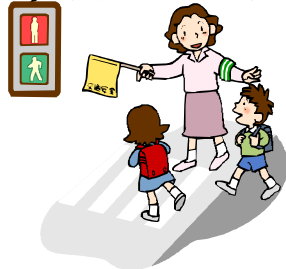


校外で不審者に出会った場合を想定して、安全に回避する方法を指導します。

2月18日(木)の避難訓練の事後指導として、ビデオを活用して学習させます。また、集団下校の際には繰り返し呼びかけ、記憶にしっかりと定着させ、また行動できるようにします。また、危険回避の仕方についてはお知らせしますので、御家庭でも繰り返し呼びかけをお願いいたします。

### 2 交通事故防止に関する取組

#### (1) 毎朝の登校指導



毎朝7時20分頃から約20分間、教職員が当番を決めて交通指導をしています。

指導場所は、旧杉野うどん店前交差点と義農味噌前の交差点です。さらに、毎月5日には、もうあと一学年が、新立橋たもと、宗意原保育所前、踏切での指導を行っています。

松前町内を走る県道は交通量が多く、特に義農味噌前の交差点は横断の難所として知られています。通学路の変更も視野に入れ、安全な通学方法について検討していますが、不審者との遭遇や連れ込み被害等を防止する観点からは、常時人目に触れる幹線道路が適当であると現時点では判断しています。

出勤後の時間は、その日の教育活動の準備時間として貴重です。その日に使うプリント類の印刷や教具の準備、学年内の打合せ等、慌ただしい時間を過ごしています。学習指導に力を入れるため、登校指導について保護者の皆様の御協力をぜひお願いしたいと感じています。


(2) 毎日の下校指導



お知らせした下校時刻に合わせて学年集団下校をしています。時刻の変更があった場合は、子供さんを通じてお知らせするようにします。

帰りの会 5 分後を目安に下校時刻を設定しています。  
 下校コース別に班を編制し、下校中に守るべき事を指導した後集団で下校させています。学級担任もコース別に分かれ、途中の危険箇所まで付き添い、安全を確認しています。最後の一人になるところまでは、人員や時間の関係で付き添うことができません。御家庭での御指導をお願いいたします。

**帰宅後の生活が気になっています。**

 <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の乗り方は正しいですか。</li> <li>周囲の安全を確かめていますか。</li> <li>細い道から飛び出ていませんか。</li> <li>車や歩行者の通行のじゃまになっていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰宅時刻を守っていますか。</li> <li>すっかり暗くなってしまってから帰宅していませんか。</li> </ul>
---	--

3 天災から身を守るための取組

(1) 火災による被害を最小限にするための避難訓練



今年度は、5月11日(月)に行いました。  
 学校生活にまだ慣れていない1年生も、先生の指導の下、次のような合い言葉を守って避難経路確認と避難の方法を学びました。  
 お...押さない(大勢の人が将棋倒しになり、踏みつけられて圧迫死!なんてことは避けたいですね。)  
 は...走らない(一人だけ助かろうと考えず、みんなで助けたいと考えたいですね。)  
 し...しゃべらない(避難誘導の指示、助けを呼ぶ声、迫ってくる炎の音、耳を澄ませて聞かなければ。)  
 も...戻らない(助けに戻って自分の命を犠牲にする。美談ですが、避けなければならない行動です。)

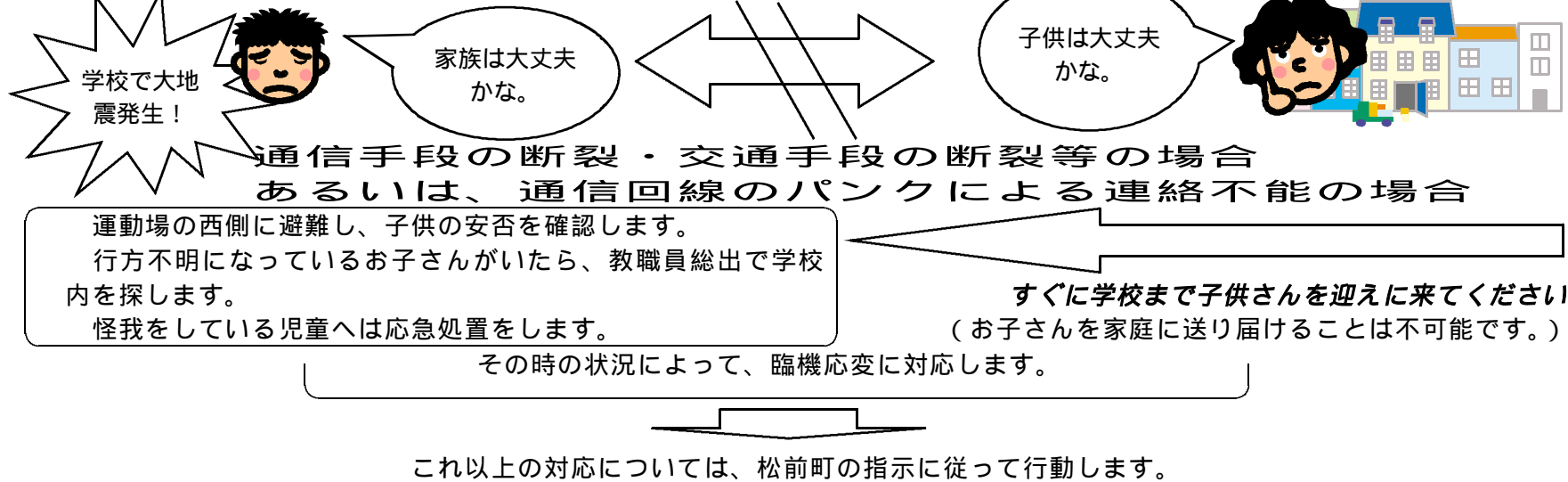
(2) 地震による被害を最小限にするための避難訓練



今年度は、1月18日(月)の業間に行いました。様々な場所で地震に遭遇したとき、どのようにして自分の命を守ればよいのかを学習しました。  
 次のように素早く行動しましょう。

- ・ 建物の中では、しっかりしたもの(机など)の下にもぐり、落下物から身体を守る。
- ・ もぐる物が無い広間や廊下、階段では、中央部分に移動し、落下物から頭を手で守り、うずくまる。
- ・ ガラス片などの落下物を防ぐため、建物から素早く離れ、うずくまる。
- ・ 地震が収まったら屋外に避難する。余震が心配されるため、絶対に建物の中には戻らない。

もしもの場合...



4 子供たちの学校生活に関する日常的な取組

あいさつの励行

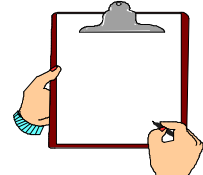


あいさつは人間関係をつくる基本です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」だけでなく、相手に迷惑をかけたときには「ごめんなさい」や「すみません」と言える人に育ててほしいと考えています。また、相手が困っているときには「だいじょうぶ?」「何か手伝えることがある?」と声をかける人に育ててほしいとも考えています。

あいさつを通して相手に対する思いやりの気持ちを育てたいと考えています。

廊下や階段で出会ったときには会釈をするよう指導しています。走っている子もいますが、会釈をすることで走るのを止める子供も大勢います。

各種アンケート調査について



**学校生活に関する調査**  
 毎学期1回のアンケート調査を行い、心の傷を負った子供たちがいないかどうか調べています。また、アンケートによる方法だけでなく、日々の観察の中で発見した子供たちからのシグナルを見逃さないようにしています。もし発見したときは、学年や学校全体で解決することを基本としています。もし、家庭生活の中でおかしいなと感じたときは、学級担任まで御相談ください。

**町、県、国の依頼による調査**  
 これまでに、携帯電話を持っているか、使用しているかどうかの調査がありました。子供たちの生活に影響する調査に関しては報告するだけでなく、個別に指導したり、講演を開くなどして対応しています。